

10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

① 履修モデルの設定

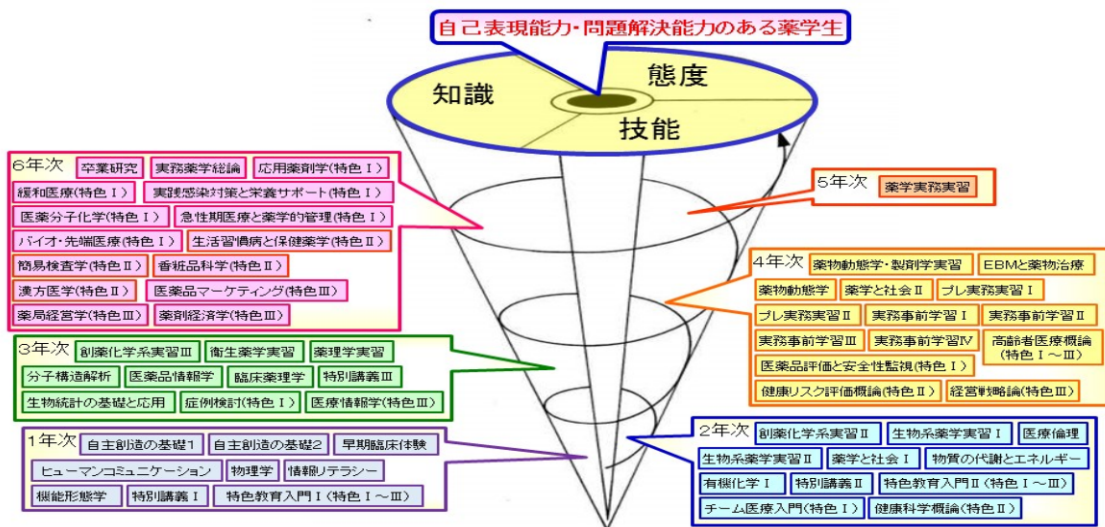
(1) 薬学部

① 平成27年度～令和3年度カリキュラム(平成27年度～令和3年度の入学生用)

日本大学薬学部においては、日本薬学会が示したコアカリキュラムに則りこれから薬剤師に要請される基本的スキル(「量から質への転換」)に加えて、日本大学の教育目標とする“学生像・人物像”すなわち、卓越した創造力・判断力・コミュニケーション力を持つ“人間力”豊かな“自主創造型パーソン”の育成・輩出する教育の目標として、薬剤師としての具体的な学生像、人物像を策定し、以下3種類(特色Ⅰ～Ⅲ)の薬剤師の養成を特色としました。

a 全体らせん図

自己表現能力・問題解決能力醸成のための教育
ー能動的学修(アクティブラーニング)関連科目ー

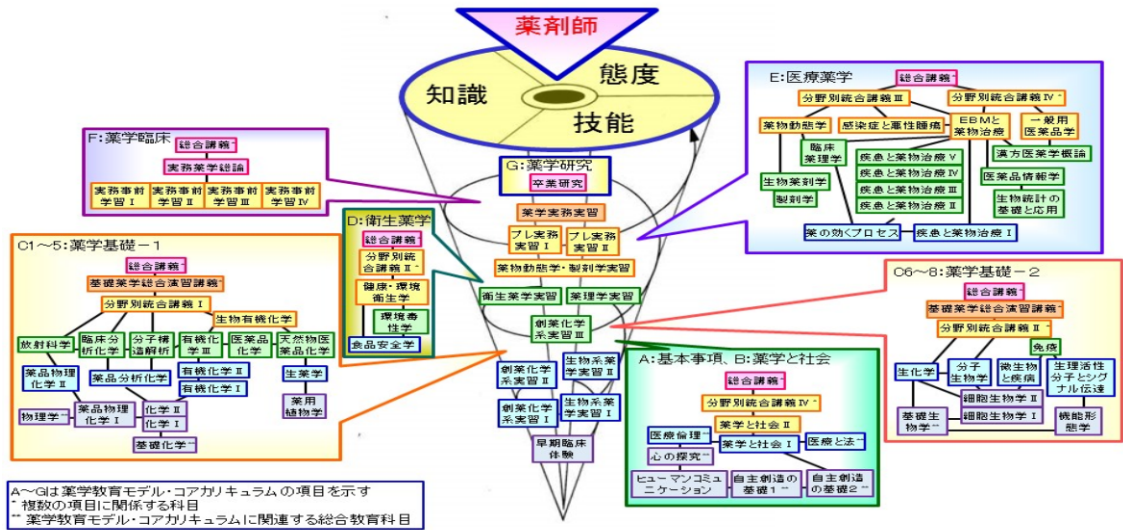


能動的学修関連科目

自分の考えや意見を適切に表現するための基本的知識、技能および態度を修得する
自己研鑽・参加型学習の態度を修得する

10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

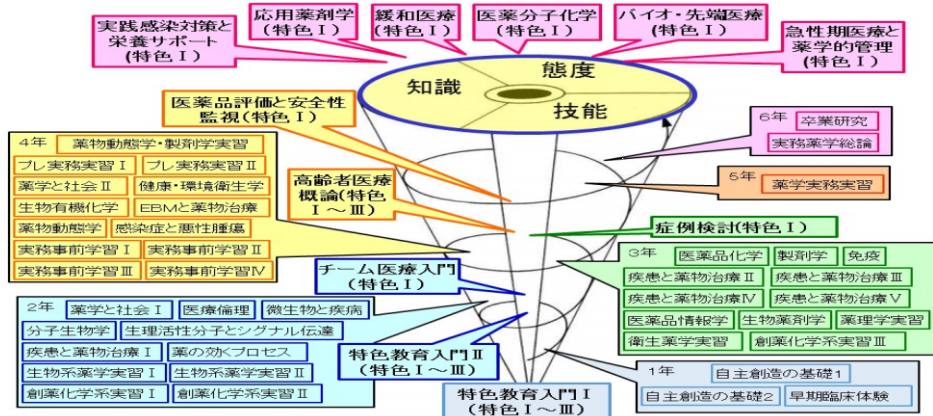
薬学教育A (薬学教育モデル・コアカリキュラム関連科目)



b 特色 I (薬物治療を提案できる薬剤師の養成)

特色教育治療系科目を修得するための関連科目

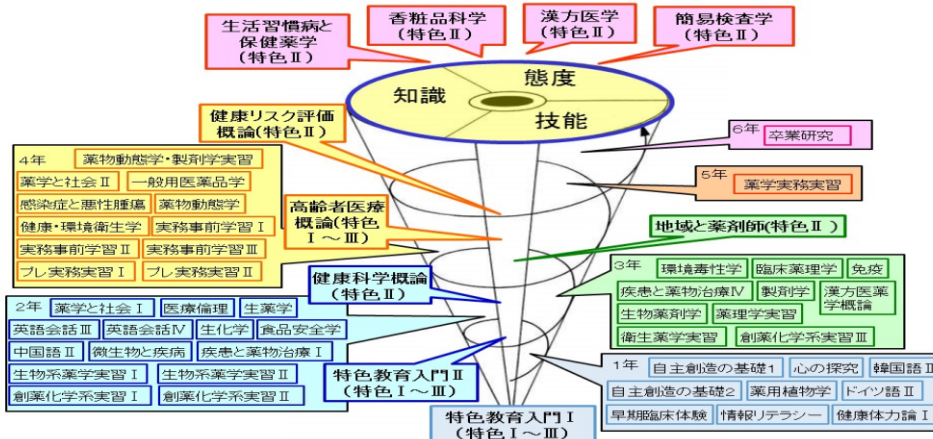
特色 I



c 特色 II (医療経済に精通した薬剤師の養成)

特色教育治療系科目を修得するための関連科目

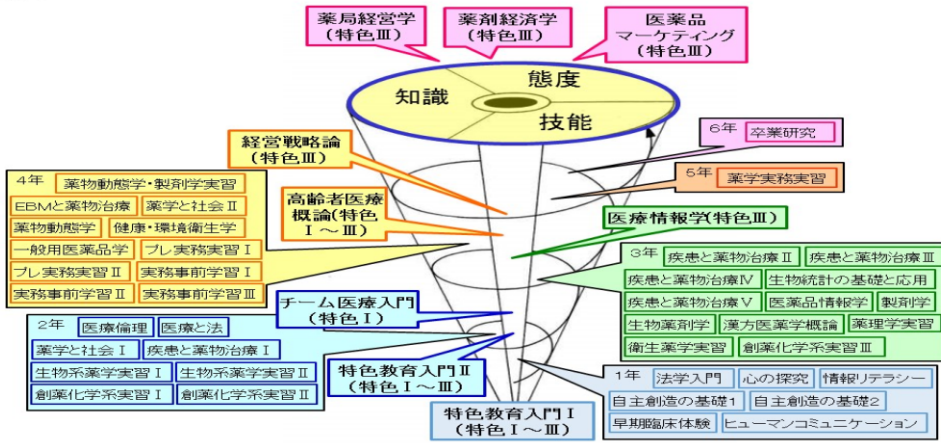
特色 II



10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

d 特色Ⅲ（地域に貢献できる薬剤師の養成）

特色教育治療系科目を修得するための関連科目
特色Ⅲ

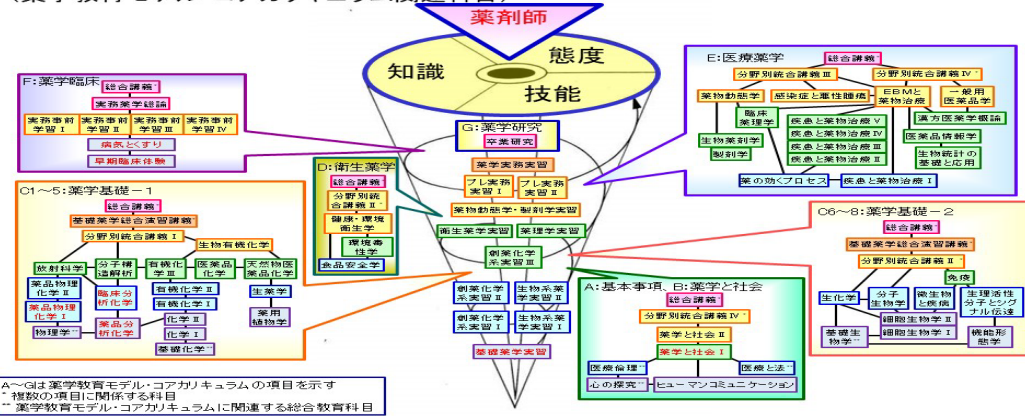


② 令和4・5年度カリキュラム(令和4・5年度の入学生用)

a 全体らせん図

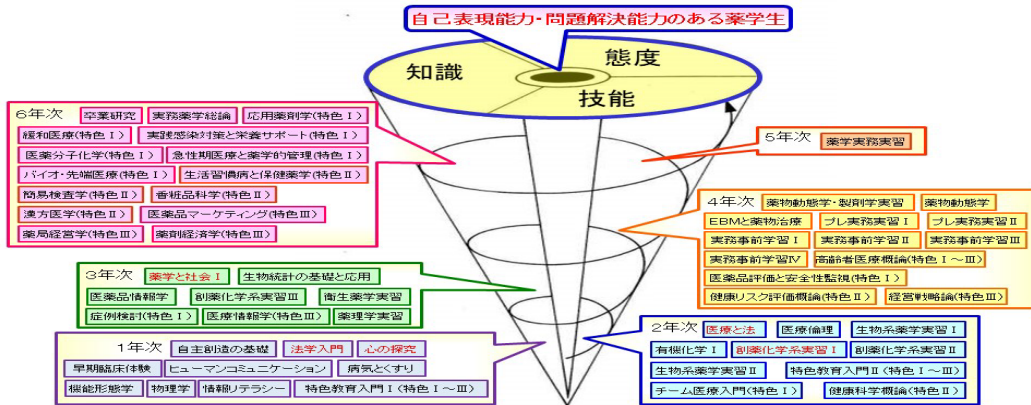
薬学教育A

(薬学教育モデル・コアカリキュラム関連科目)



自己表現能力・問題解決能力醸成のための教育

— 能動的学修(アクティブラーニング)関連科目 —



能動的学修関連科目

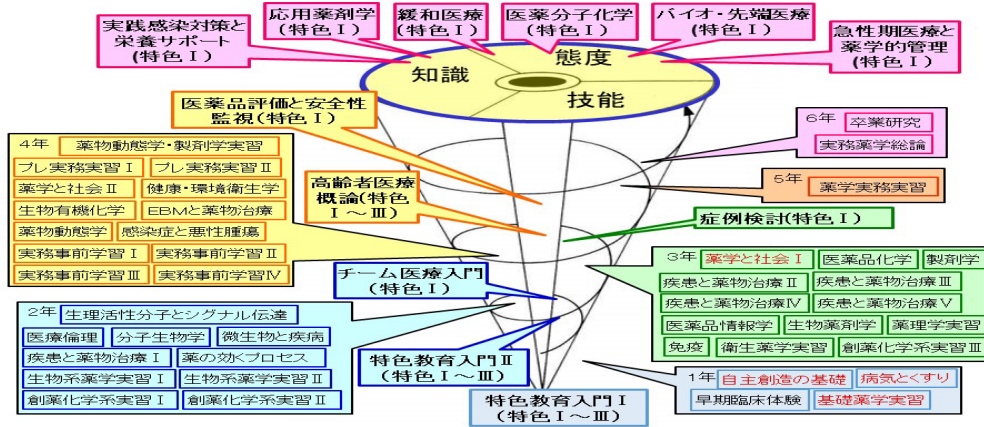
自分の考えや意見を適切に表現するための基本的知識、技能および態度を修得する
 自己研鑽・参加型学習の態度を修得する

10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

b 特色 I (薬物治療を提案できる薬剤師の養成)

特色教育治療系科目を修得するための関連科目

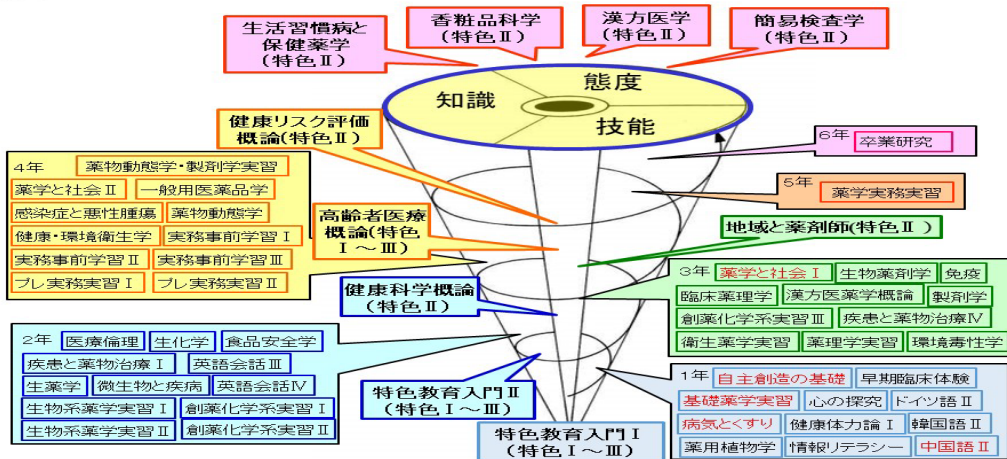
特色 I



c 特色 II (医療経済に精通した薬剤師の養成)

特色教育地域系科目を修得するための関連科目

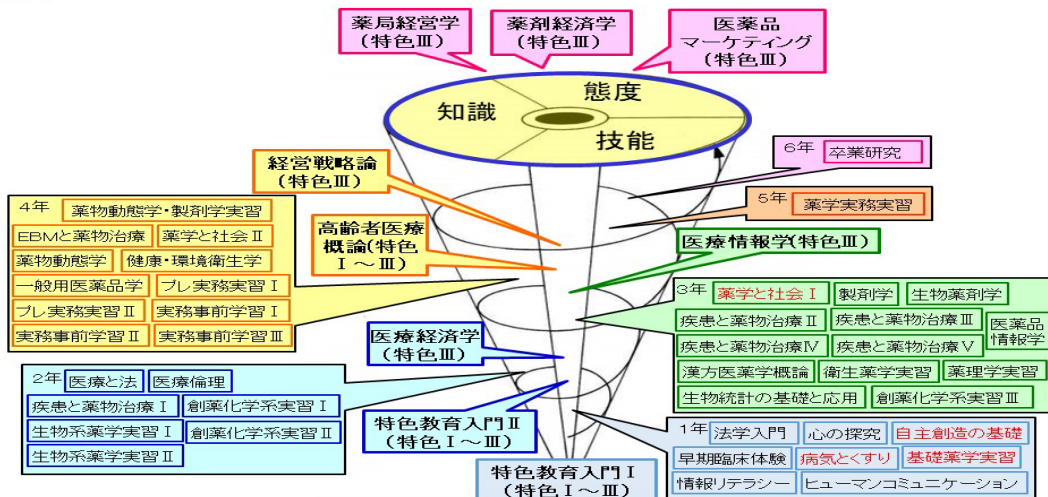
特色 II



d 特色 III (地域に貢献できる薬剤師の養成)

特色教育経営系科目を修得するための関連科目

特色 III

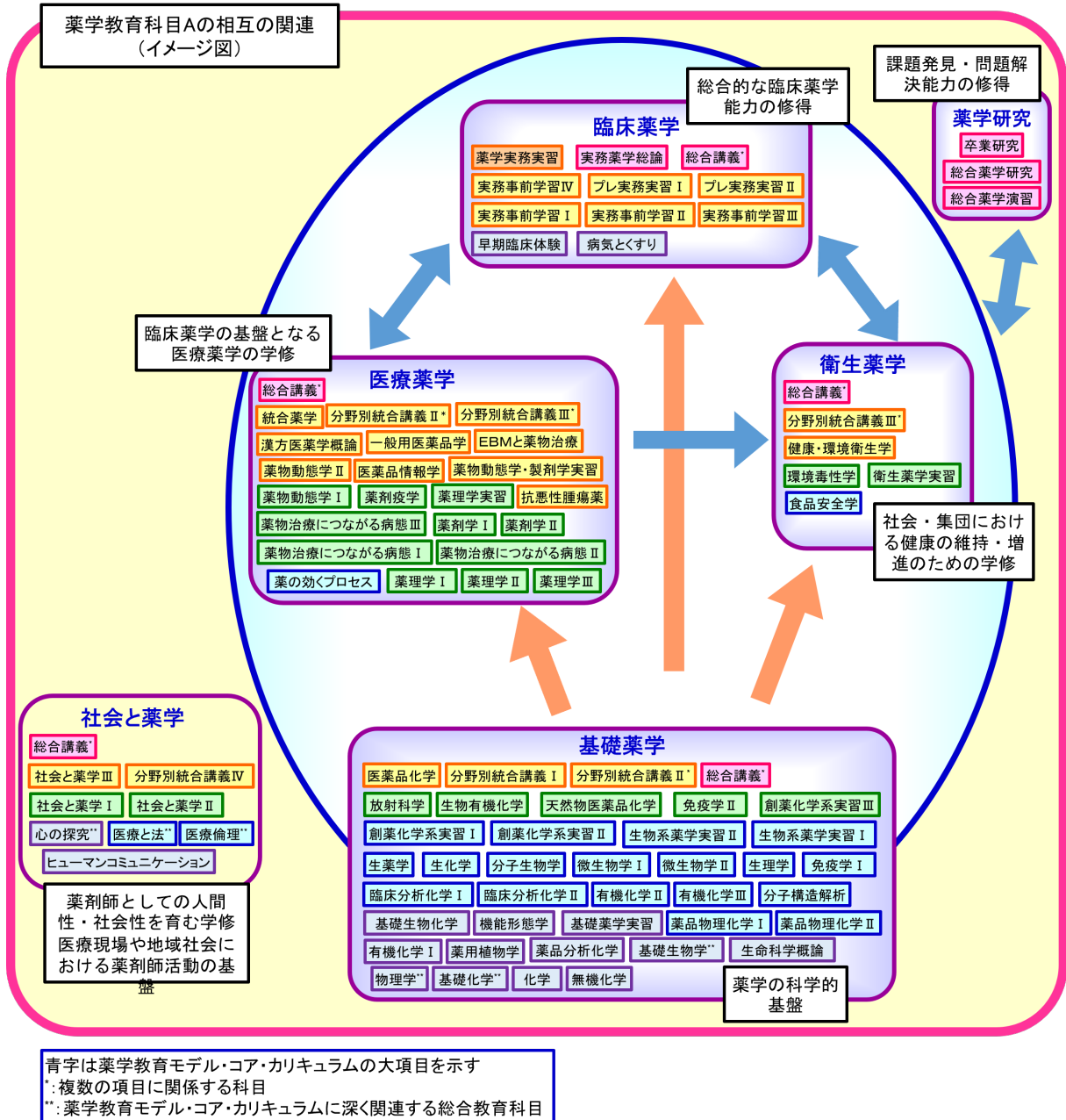


10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

③ 令和6年度カリキュラム(令和6年度の入学生用)

a 薬学教育科目A(薬学教育モデル・コア・カリキュラム関連科目)

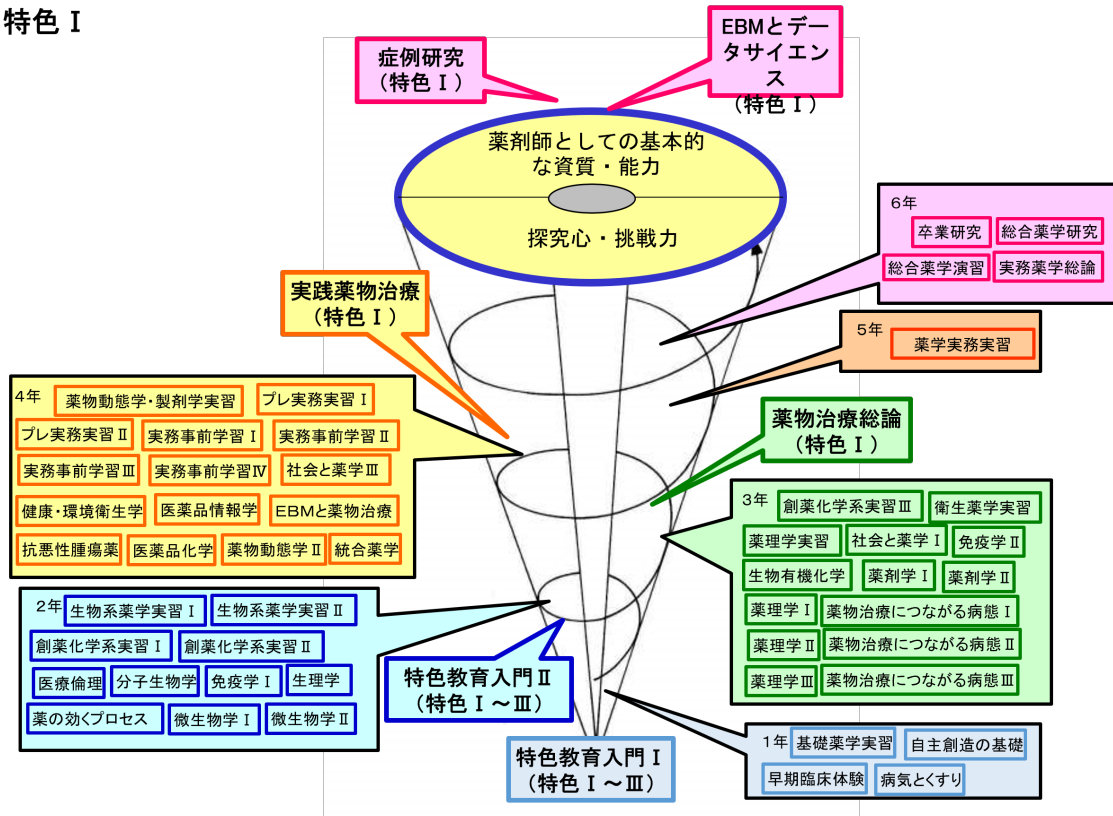
薬学教育Aの科目は、薬学教育モデル・コア・カリキュラムに設定された内容を学修するための中心となる科目です。薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、生涯にわたっての目標である「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を獲得するために、6個の大項目(図中の青字)が設定されています。大項目は、中項目、さらに小項目に区分されています。



10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

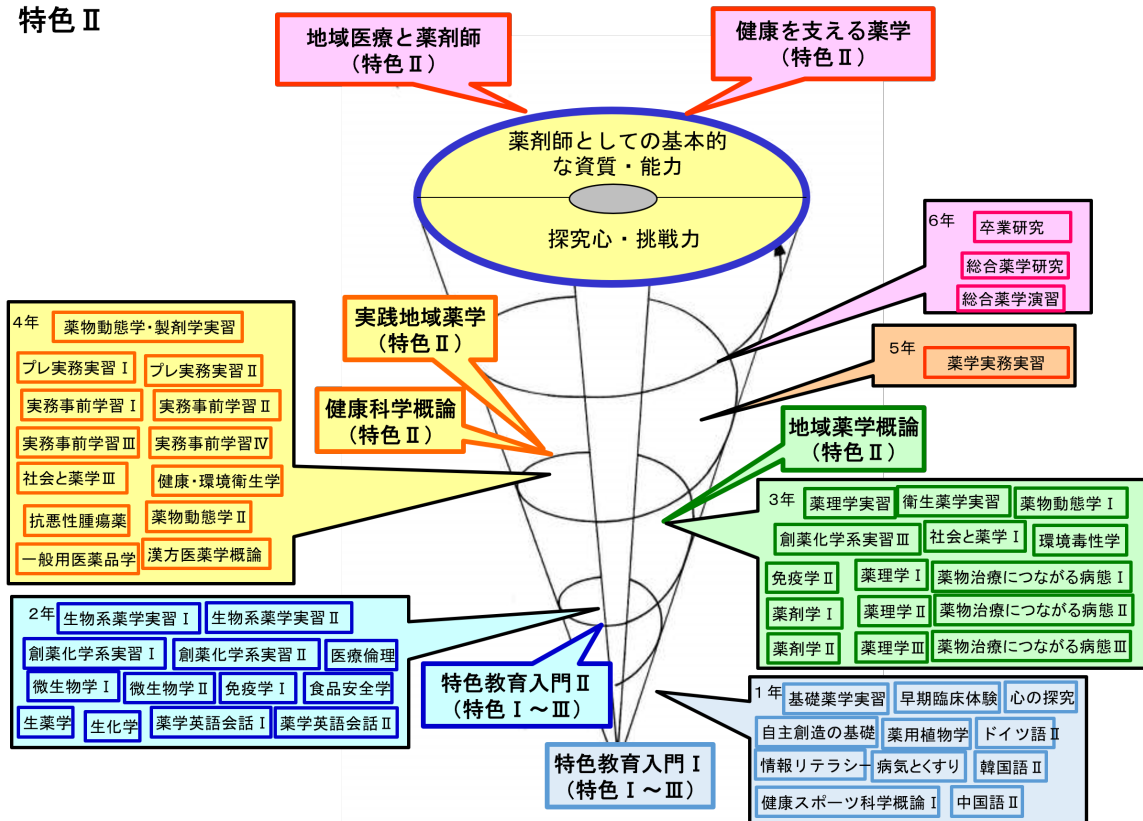
b 特色 I (薬物治療を提案できる薬剤師の養成)

特色 I



c 特色 II (医療経済に精通した薬剤師の養成)

特色 II

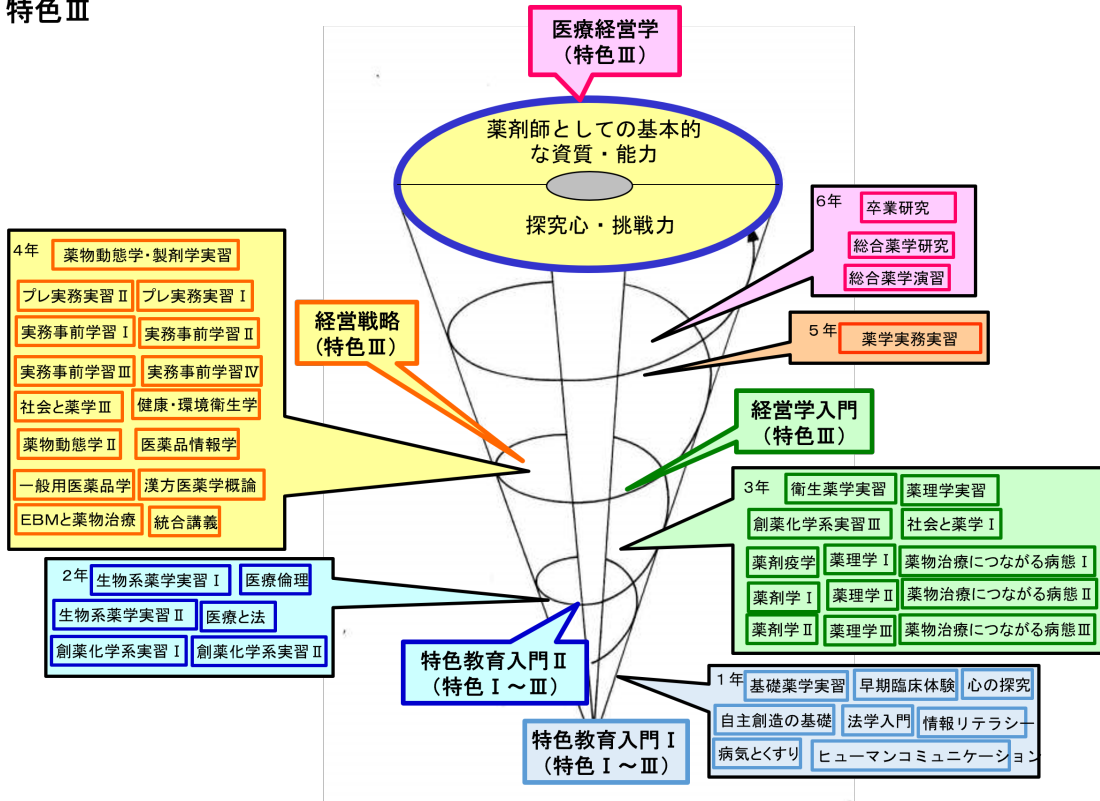


10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

d 特色Ⅲ（地域に貢献できる薬剤師の養成）

特色教育経営系科目を修得するための関連科目

特色Ⅲ

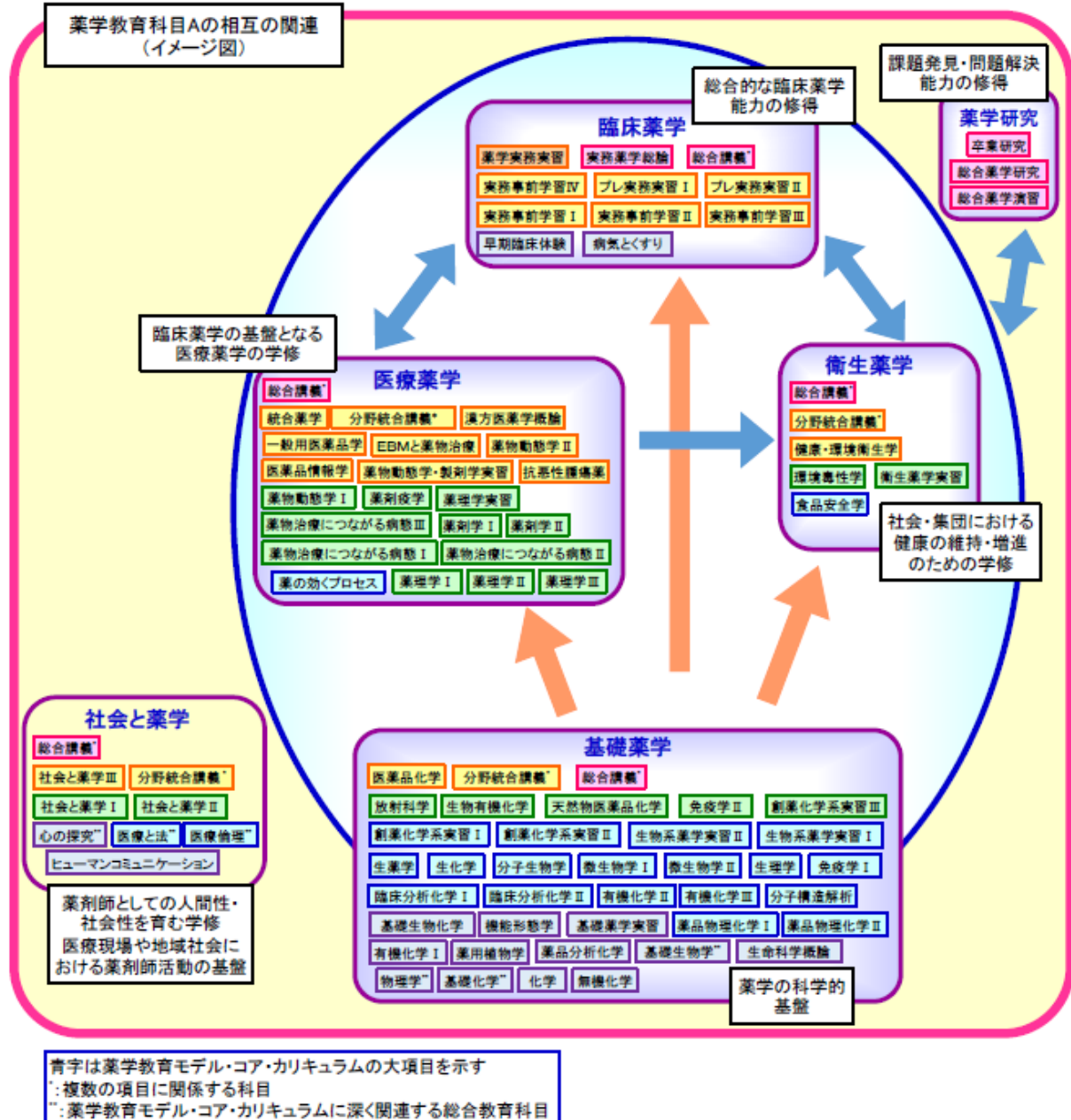


10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

④ 令和7年度以降カリキュラム(令和7年度以降の入学生用)

a 薬学教育科目A(薬学教育モデル・コア・カリキュラム関連科目)

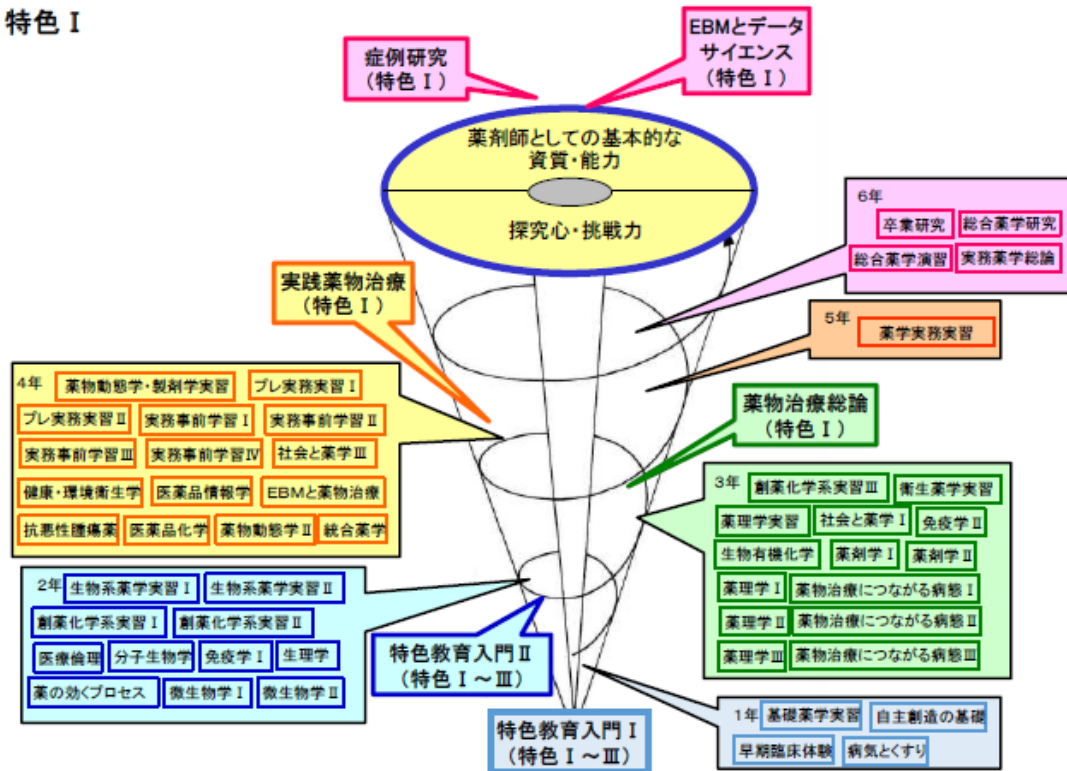
薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、生涯にわたっての目標である「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を獲得するために、6個の大項目(図中の青字)が設定されています。大項目は、中項目、さらに小項目に区分されています。



10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

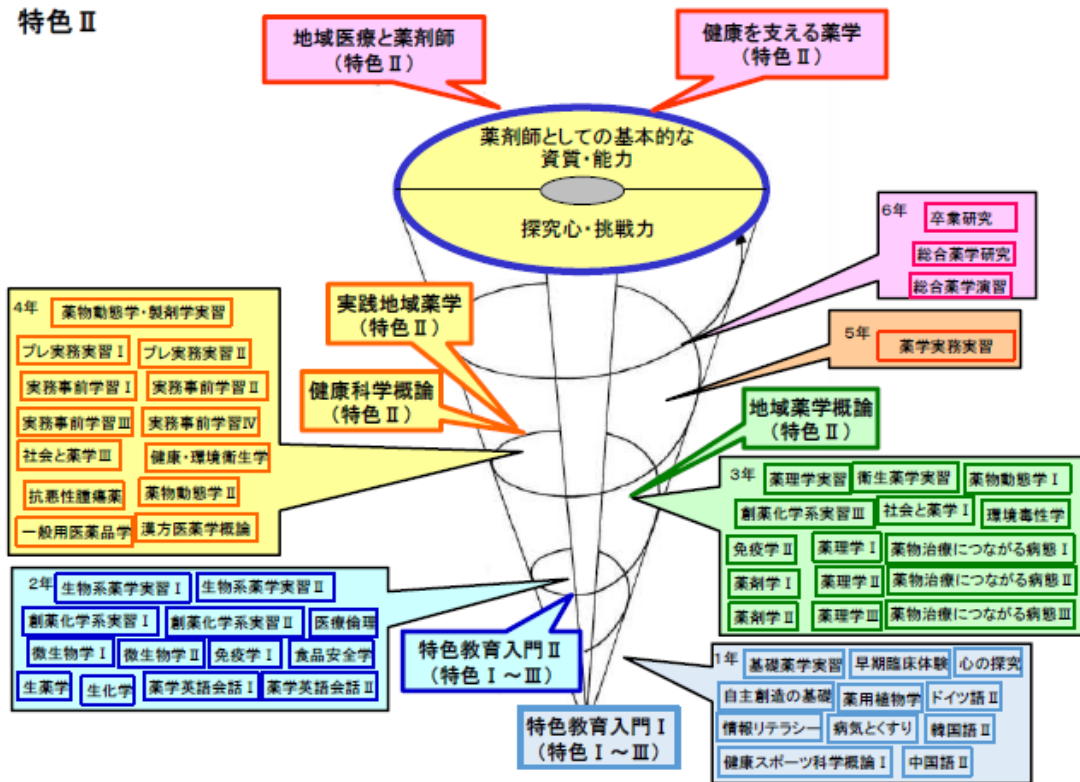
b 特色 I (薬物治療を提案できる薬剤師の養成)

特色 I



c 特色 II (医療経済に精通した薬剤師の養成)

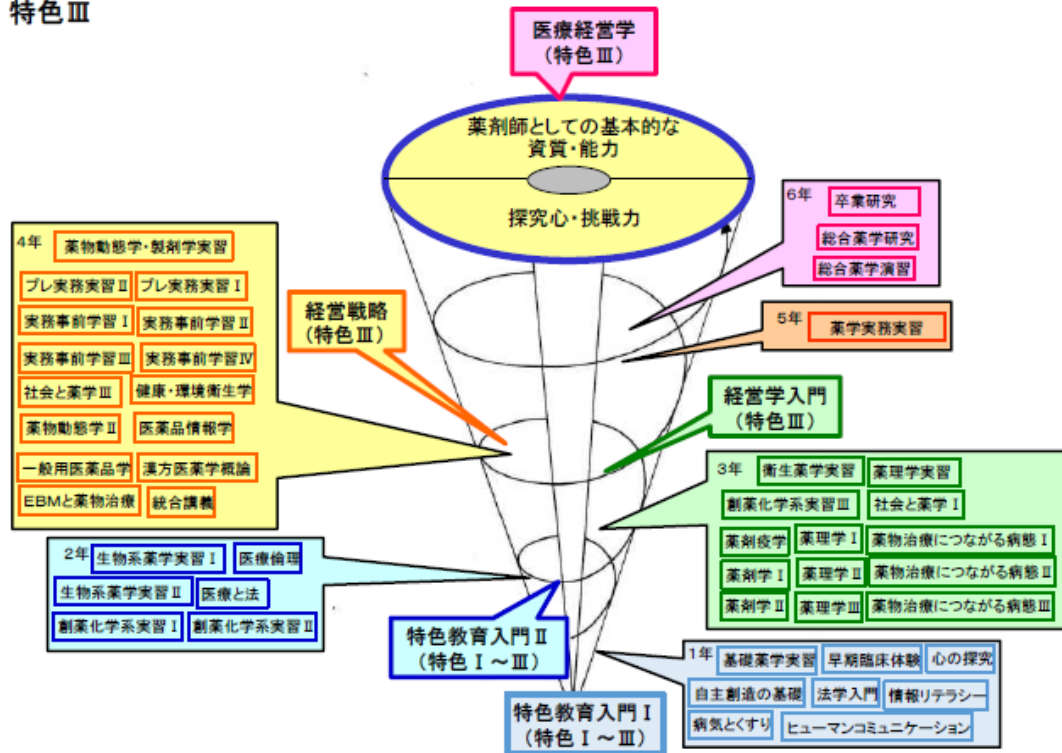
特色 II



10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

d 特色Ⅲ（地域に貢献できる薬剤師の養成）

特色Ⅲ



10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

(2)薬学研究科

博士課程

4年次					薬学特別研究 18単位	医学研究科 相互履修科目
3年次			病院実務実習 2年次の 後期 6か月間 (6単位)	実践薬学分野研究 応用薬学分野研究 基礎薬学分野研究 (各2単位)		
2年次						
1年次	必修科目	選択科目				

基礎薬学分野における研究を行う場合

履 修 科 目	1年次	2年次	3年次	4年次
医療薬学特論Ⅰ	1単位			
医療薬学特論Ⅱ	1単位			
病態科学特論Ⅰ	1単位			
病態科学特論Ⅱ	1単位			
解析学特論	1単位			
生命科学特論	1単位			
製剤設計学特論	1単位			
臨床薬物動態学特論	1単位			
創薬化学特論	1単位			
アカデミック・ライティング	1単位			
天然薬物化学特論	1単位			
環境衛生学特論	1単位			
基礎薬学/応用薬学分野研究		2単位		
薬学特別研究	18単位			
合計単位数	12単位	2単位		18単位
	32単位			

10 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

医学部付属病院で病院実務実習を実施し、実践薬学分野に関する研究を行う場合

履 修 科 目	1年次	2年次	3年次	4年次
医療薬学特論Ⅰ	1単位			
医療薬学特論Ⅱ	1単位			
病態科学特論Ⅰ	1単位			
病態科学特論Ⅱ	1単位			
解析学特論	1単位			
生命科学特論	1単位			
製剤設計学特論	1単位			
臨床薬物動態学特論	1単位			
創薬化学特論	1単位			
アカデミック・ライティング	1単位			
病院実務実習		6単位		
薬学特別研究	18単位			
合計単位数	10単位	6単位		18単位
	34単位			

薬局・病院薬剤師として在職のまま、応用薬学に関する研究を行う場合

履 修 科 目	1年次	2年次	3年次	4年次
医療薬学特論Ⅰ	1単位			
医療薬学特論Ⅱ	1単位			
病態科学特論Ⅰ	1単位			
病態科学特論Ⅱ	1単位			
解析学特論	1単位			
生命科学特論	1単位			
製剤設計学特論	1単位			
臨床薬物動態学特論	1単位			
創薬化学特論	1単位			
アカデミック・ライティング	1単位			
天然薬物化学特論	1単位			
環境衛生学特論	1単位			
実践/応用薬学分野研究		2単位		
薬学特別研究	18単位			
合計単位数	12単位	2単位		18単位
	32単位			